



操作マニュアル

DuraVision® DX0211-IP

IP デコーディングボックス

ソフトウェアバージョン 5.4

重要

ご使用前には必ずこの操作マニュアルおよび設定マニュアル、セットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

・操作マニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

マニュアルの記載内容について

セットアップマニュアル	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
設定マニュアル※1	ネットワークカメラの登録や機能の設定、システム設定について説明しています。
操作マニュアル（本書）※1	ライブ画面のメニューの操作について説明しています。

※1 ご利用のソフトウェアバージョンの操作マニュアル（本書）および設定マニュアルは、当社Webサイトから確認してください。「サポート」から「取扱説明書」を選択し、「製品名から検索」に「DX0211-IP」を入力して「検索」をクリックしてください。

www.eizo.co.jp

PDFファイルを見るためには、Adobe® Acrobat® Reader®のインストールが必要です。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

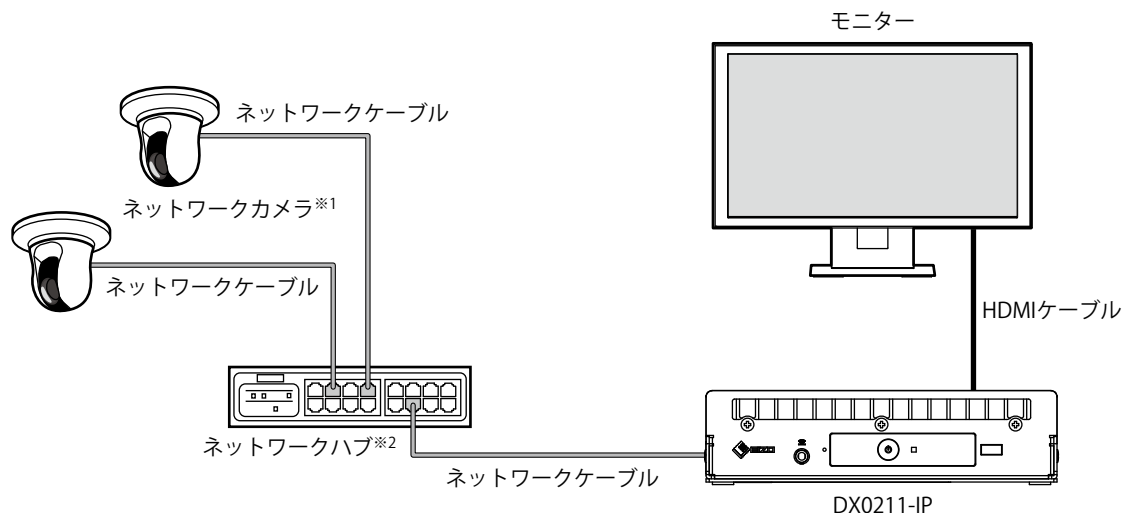
目次	3
第1章 製品概要	4
1-1. システム構成	4
1-2. クリーニングの仕方	4
第2章 電源を入れる / 電源を切る	5
2-1. 電源を入れる	5
2-2. 電源を切る	5
第3章 操作する	6
3-1. ライブ画面について	6
● メニューの基本操作方法	7
3-2. ログインする	9
3-3. 画面の表示を設定する	11
● 画面のレイアウトを切り替える	11
● 画面の表示ページを切り替える	12
● カメラ映像の表示位置を入れ替える	13
3-4. ネットワークカメラを操作する	14
● 操作の前に	14
● ネットワークカメラを操作する	15

第1章 製品概要

この製品は、最大32台のネットワークカメラ※1の映像を、HDMIケーブルで接続したモニターに出力する機器です。

※1 映像をネットワーク信号に変換して伝送するカメラです。

1-1. システム構成



※1 ネットワークカメラは最大48台まで登録できます。

※2 PoE+対応ネットワークハブを使用してください。PoE+に対応していない場合、ネットワークカメラおよびDX0211-IPは個別に電源に接続する必要があります。

1-2. クリーニングの仕方

製品本体の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- ・アルコール、消毒薬などの薬品は、製品本体の光沢の変化、変色、色あせ、劣化などにつながる恐れがあります。
- ・シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、製品本体をいためるため絶対に使用しないでください。

第2章 電源を入れる / 電源を切る

2-1. 電源を入れる

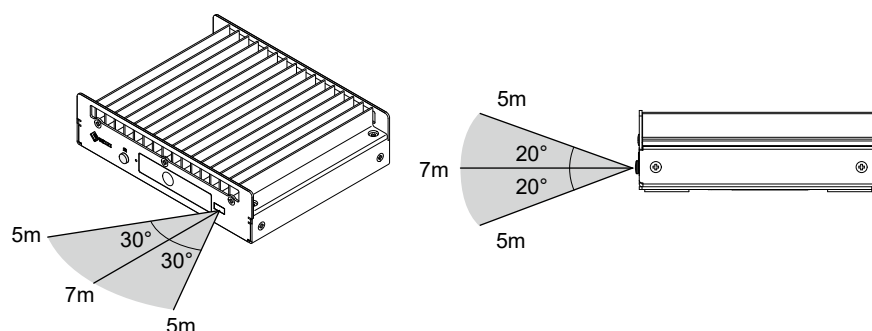
1. 製品前面の またはリモコンのPOWERを押します。

電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。

(ライブ画面については、「3-1. ライブ画面について」(P.6)を参照してください。)

注意点

- 電源を接続してからライブ画面が表示されるまでに約30秒かかります。起動中は電源を切らないでください。
- ネットワークカメラが登録されていないときは、ネットワークカメラ画像表示エリアに「未登録」のメッセージが表示されます。
- リモコンは次の図の範囲内で使用してください。



- この製品を複数台設置する場合は、リモコン操作が相互に影響しないよう間隔を空けてください。
 - リモコンのID設定をおこなうことで、任意の製品を操作することが可能になります。初期値では、リモコンの信号を受信したすべての製品が同じ動作をします。
- リモコンのID設定については、「設定マニュアル」を参照してください。

2-2. 電源を切る

1. 製品前面の またはリモコンのPOWERを押します。

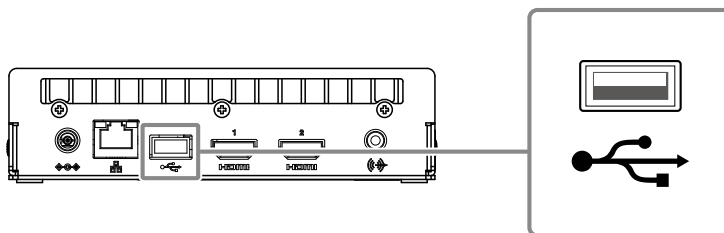
第3章 操作する

この製品の操作は、USBマウス、USBキーボード、リモコン、またはジョイスティックを使用しておこないます。

本章ではUSBマウスでの操作を前提に説明します。

注意点

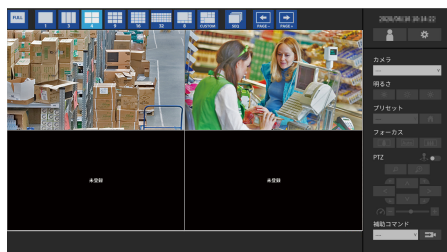
- 事前にこの製品のUSBダウンストリームポートにUSBマウス、USBキーボード、またはジョイスティックを接続してください。
- USBハブ機能を持つ機器に接続すると複数のUSB機器で操作できます。



3-1. ライブ画面について

この製品の電源を入れると、HDMIケーブルで接続したモニターにネットワークカメラの映像が表示されます。映像の周りにはメニューが表示されます。

FULL を押すと、メニューが隠れ、画面全体に映像が表示されます。再度メニューを表示する場合は、画面のどこかをクリックしてください。



ライブ画面
(映像とメニュー)



ライブ画面
(映像のみ)

参考

- この切り替えは、Webブラウザからも実行することができます。Webブラウザからの操作については、「設定マニュアル」を参照してください。

● メニューの基本操作方法

メニューでは映像表示エリアの表示設定やシステムおよびネットワークカメラの設定をおこないます。

画面の構成



注意点

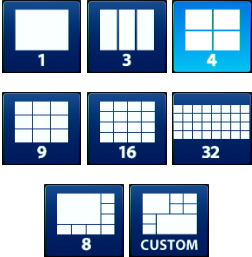
- ・シーケンス表示が有効の場合、カメラ操作メニューを操作することができません。

参考

- ・ライブ画面のメニューが非表示の場合でもリモコンで表示メニューを操作することができます。

表示メニュー

ライブ画面に表示されるカメラ画像に関する操作ができます。エンタープライズエディションの場合、表示するアイコンは設定画面から変更できます。詳細は「設定マニュアル」を参照してください。

表示メニュー (初期設定)	リモコン ボタン	ショート カットキー	詳細
	FULL	F	メニューを表示 / 非表示します。
	LAYOUT	L	映像の表示レイアウトを変更します。
	SEQUENCE	S	シーケンス機能（映像表示エリアに表示するページを一定間隔で切り替える機能）のオンまたはオフを切り替えます。
	PAGE+ / PAGE-	PageDown / PageUp	映像表示エリアに表示するページを切り替えます。

システムメニュー / カメラ操作メニューのリモコン操作

システムメニューでは、システムへのログインボタンを操作できます。

カメラ操作メニューでは、製品側からネットワークカメラを操作することができます。

項目	操作方法
項目を選択するとき	△/▽/◀/▶を押します。
選択した項目を決定するとき	ENTERを押します。
設定を変更するとき	設定ボタンの場合： ENTERを押します。（ズーム、位置調整を除く） リストボックスの場合： 1. ENTERを押します。 2. △または▽で設定を選択します。 3. ENTERを押します。
1つ上の階層に戻るとき	RETURNを押します。 参考 ・設定中の変更を取り消す場合は、RETURNを押します。

3-2. ログインする

注意点

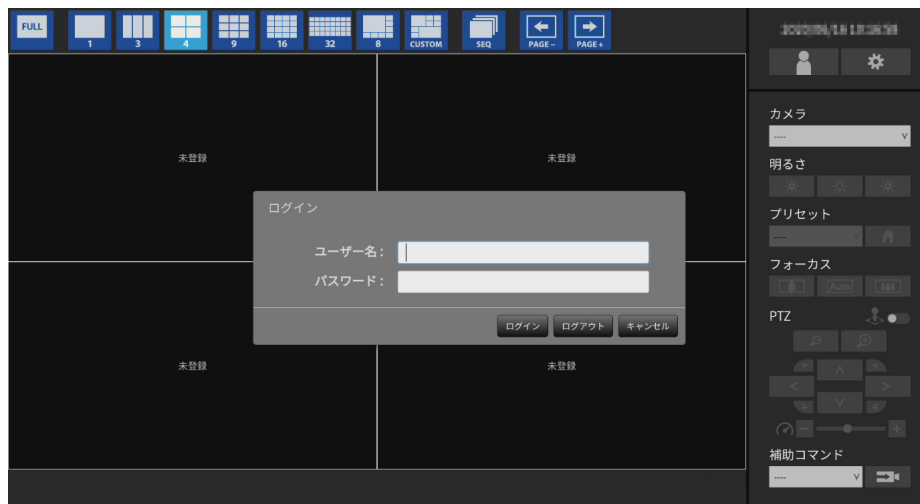
- この製品にアクセスするユーザーアカウントのレベルによって、操作できる範囲が異なります。レベルには「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」があります。それぞれのレベルで操作できる範囲は次のとおりです。

(○：操作可、-：操作不可)

レベル \ 操作	表示メニュー	システムメニュー		カメラ画像の表示位置の入れ替え
		ログイン操作	システム設定	
LIVE	○	○	-	-
CAMERA CONTROL	○	○	-	○
ADMIN	○	○	○	○

- 電源オン時およびログオフ後のユーザーレベルは「LIVE」です。
- ユーザーレベルの設定については、「設定マニュアル」を参照してください。

-  (ログイン) を選択します。
ログイン画面が表示されます。



- 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
ユーザー名とパスワードについては、システムの管理者にお問い合わせください。

ログイン

ユーザー名:

パスワード:

ログイン ログアウト キャンセル

参考

- 「アカウントタイプ」が「LDAP」の場合、事前に「LDAP設定」の「ログインダイアログでアカウントタイプを選択する」にチェックを入れることで、ログイン時に一時的にアカウントタイプを変更することが可能です。

文字の入力方法

- リモコンで入力する場合

1. ENTER を押します。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

2. $\wedge$ / $\vee$ / $\lt$ / $\gt$ で文字を選択し、ENTER で入力します。

次の文字を入力するときは $\gt$ を押します。

文字を削除するときはCLEARを押します。

3. ソフトウェアキーボードの「Enter」を押します。

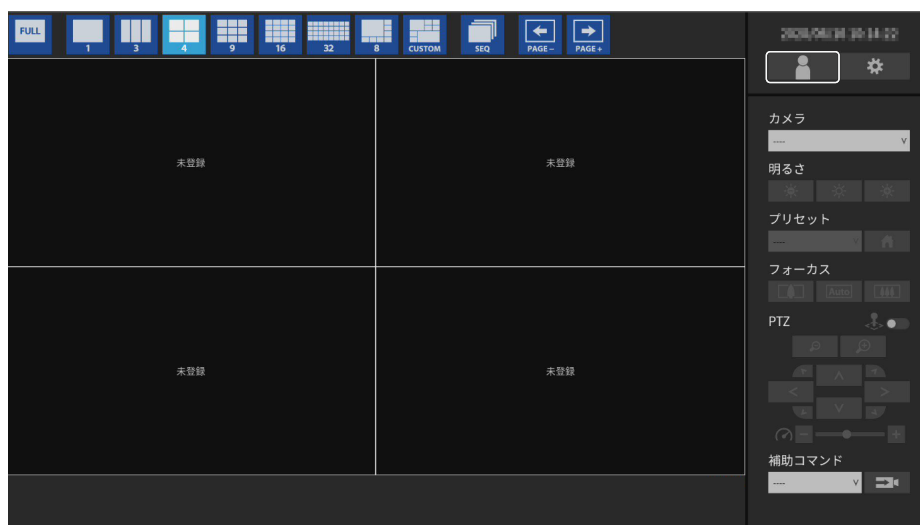
- USBマウスで入力する場合

テキストボックスなど文字入力が必要な項目をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。ソフトウェアキーボード外にフォーカスが移動すると、ソフトウェアキーボードは非表示になります。

- USBキーボードで入力する場合

タイピングした文字がテキストボックスに入力されます。

3. 「ログイン」を選択します。



3-3. 画面の表示を設定する

参考

- エンタープライズエディションの場合、表示するアイコンは設定画面から変更できます。詳細は「設定マニュアル」を参照してください。

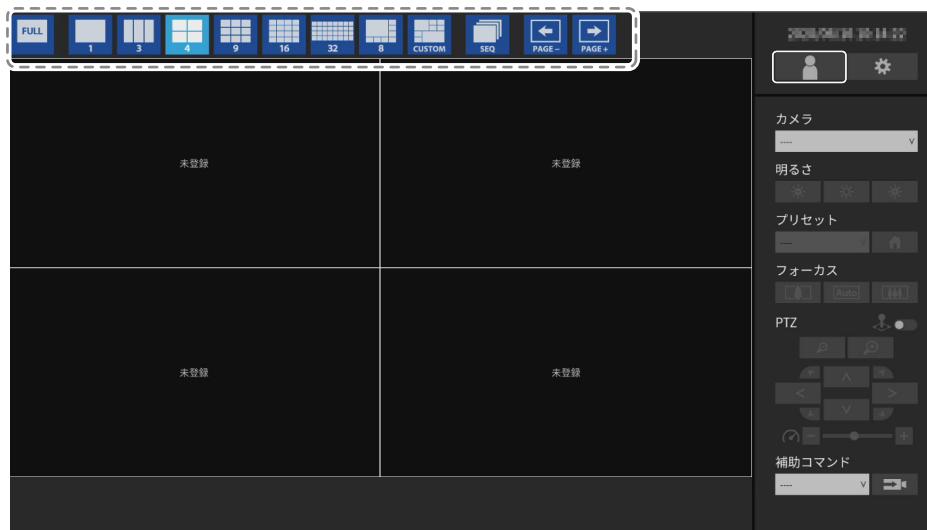
● 画面のレイアウトを切り替える

ライブ画面に同時に表示する映像の数を設定します。

操作方法

1. 表示するレイアウトのアイコンを選択します。

表示メニューのレイアウトアイコンを選択することで画面のレイアウトが切り替わります。



注意点

画面レイアウトを3面表示する場合：

- 縦長の入力画像の表示に適しています。縦長の画像を表示する場合は、ネットワークカメラの設定が必要です。設定の詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

参考

- USBキーボードの場合は、ショートカットキー（L）を押すたびにレイアウトが切り替わります。
- メニュー表示状態で任意のカメラウィンドウをダブルクリックすると、全画面表示の1面レイアウトに切り替わります。ただし、ジョイスティックモード中はこの機能は無効になります。

● 画面の表示ページを切り替える

ページを切り替えてカメラ画像を表示します。

ページの切り替えは、手動で切り替える方法と、一定の間隔で自動的に切り替える方法（シーケンス表示）があります。

参考

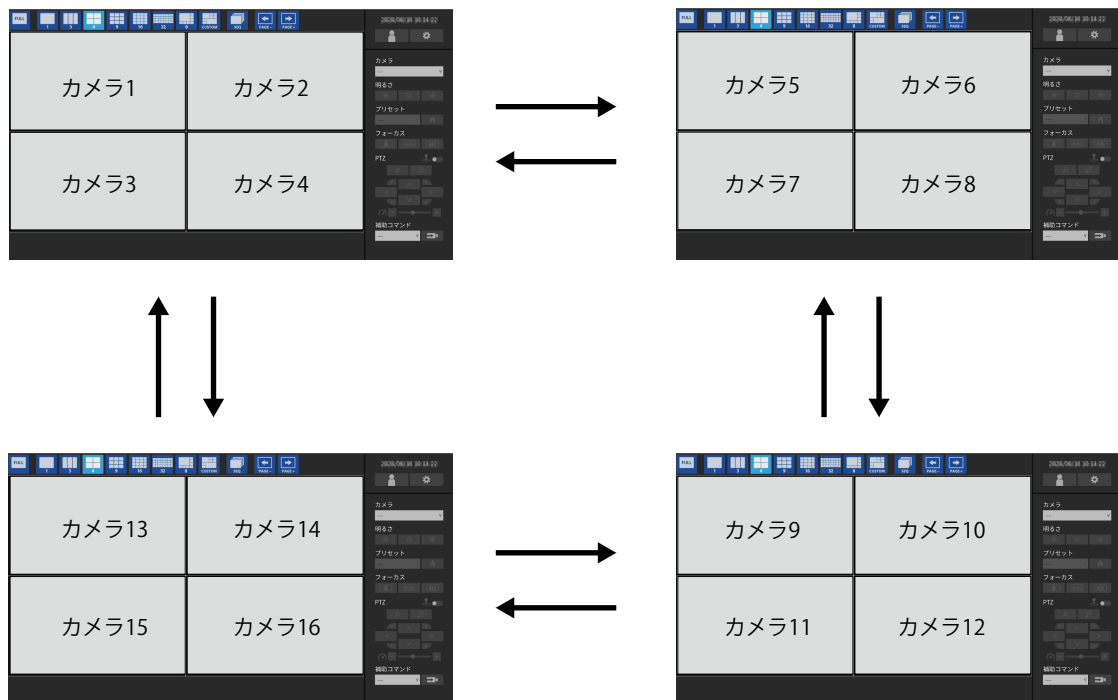
- 画面のレイアウトにカスタムスクリーンを指定した場合、ページ数は指定した画面数によって異なります。

手動で切り替える

操作方法

- 表示メニューの  または  を選択します。

例：画面のレイアウトが4面、かつカメラ登録台数が16台の場合



参考

- USBキーボードの場合は、ショートカットキー（PageDownまたはPageUp）を押すことでページを切り替えます。

自動的に切り替える（シーケンス表示）

操作方法

- 表示メニューの  を選択します。
指定された間隔で、画面に表示されるページが自動的に切り替わります。

参考

- ページを切り替える間隔を変更することもできます（初期設定：10秒）。表示間隔の変更方法については、「設定マニュアル」を参照してください。
- シーケンス表示を停止するときは、再度  を選択してください。
- USBキーボードの場合は、ショートカットキー（S）を押すことで、シーケンス表示の開始 / 停止を切り替えます。

注意点

- シーケンス表示はネットワークカメラが登録されたページのみ表示されます。カメラが登録されていないページは表示されません。
- ネットワークカメラを選択すると、シーケンス表示を停止します。

● カメラ映像の表示位置を入れ替える

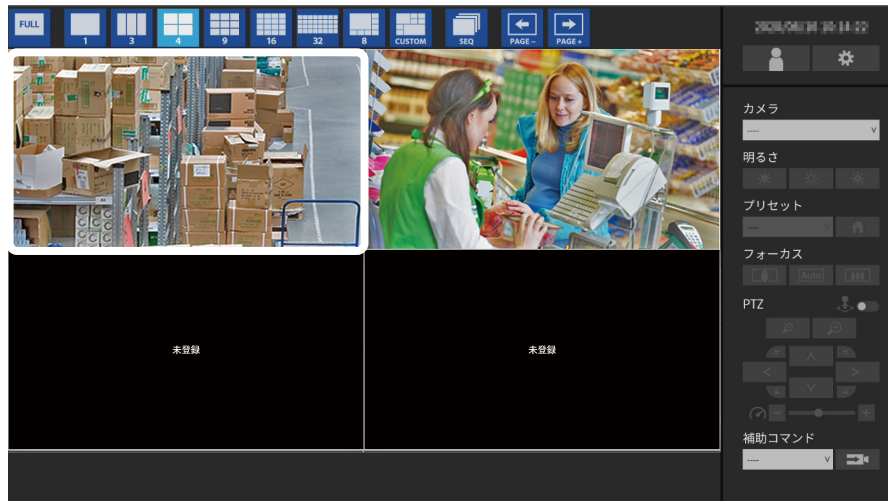
画面のレイアウトが1面以外の場合は、カメラ映像を表示する位置を入れ替えられます。

注意点

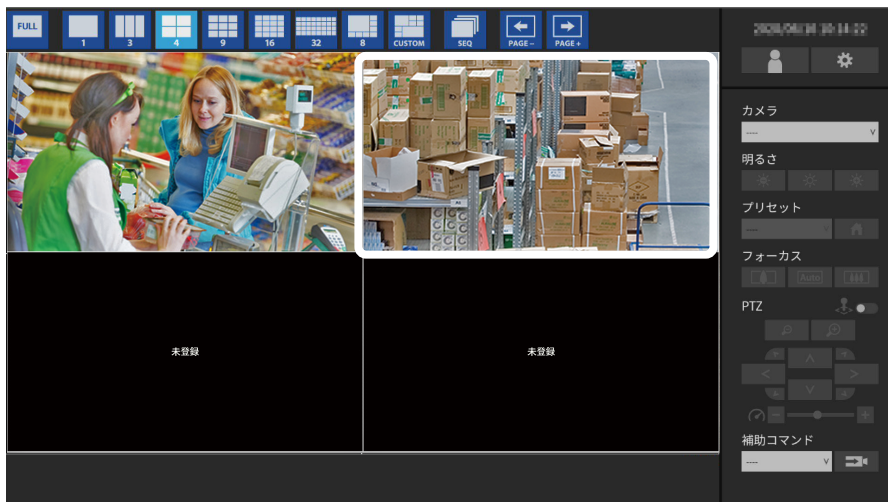
- ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーでログインする必要があります。
- 登録しているネットワークカメラの、すべての表示位置の入れ替えが可能です。

操作方法

1. USBマウスで移動するカメラ映像を選択し、ドラッグした状態で移動先のカメラ映像の位置へドロップします。



移動元と移動先のカメラ画像の表示位置が入れ替わります。



3-4. ネットワークカメラを操作する

● 操作の前に

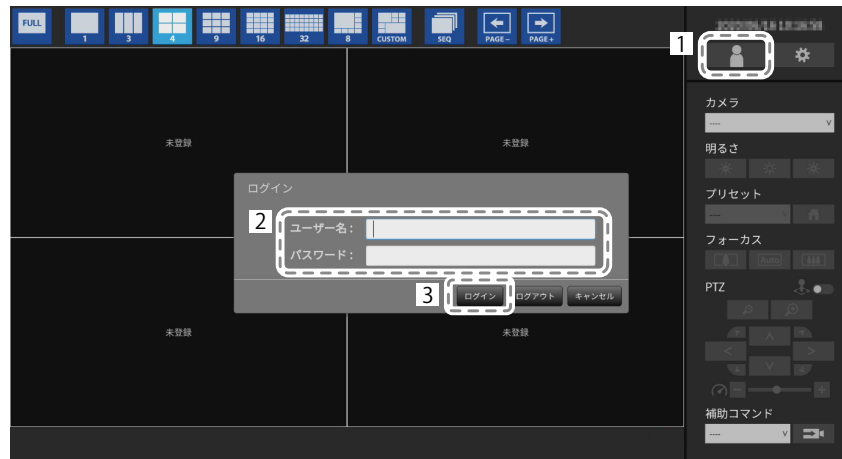
ネットワークカメラの操作は、この製品にアクセスしているユーザーのレベルが「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」のときのみ有効です。

はじめに上記レベルのユーザーで、システムにログインしてください。

操作方法

1. 「システム」の （ログイン）を選択します。

ログイン画面が表示されます。



2. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

3. 「ログイン」を選択します。

ライブ画面に戻ります。

参考

- 文字の入力方法は「[文字の入力方法](#)」（P.10）を参照してください。
- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
 - ユーザー名：「admin」
 - パスワード：「admin」
 - ユーザーレベル：「ADMIN」
- 「アカウントタイプ」が「LDAP」の場合、事前に「LDAP設定」の「ログインダイアログでアカウントタイプを選択する」にチェックを入れることで、ログイン時に一時的にアカウントタイプを変更することが可能です。
- ユーザーの設定方法については、「設定マニュアル」を参照してください。
- 第三者によるカメラ操作や設定の改ざんを防ぐため、操作終了後はログアウトすることをお勧めします。
- 自動ログインの設定をおこなうと、ユーザー名とパスワードを入力せずにシステムにログインできます。詳細は、「設定マニュアル」を参照してください。

注意点

- 自動ログインの設定をおこなうと、悪意を持った第三者による不正操作が簡単にできるようになります。設定はセキュリティが十分に確保されている環境での使用に限定してください。
- ログイン中に製品の電源を切ると、自動的にシステムからログアウトされます。

● ネットワークカメラを操作する

操作方法



1. 操作するネットワークカメラを選択します。

ライブ画面に表示されているネットワークカメラを選択します。選択されたカメラ画像の枠線が太くなります。

2. 各機能を操作します。

注意点

- お使いのネットワークカメラによっては、操作できない機能があります。
- 「プロトコル」が「DirectUri」または「SRT」の場合は、ネットワークカメラを操作できません。

参考

- 操作したいネットワークカメラをリモコンの数字ボタンで選択することができます（画面番号を入力します）。また、ライブ画面の画像をUSBマウスでクリックすることで選択することもできます。
- ライブ画面の表示位置を変更することができます。詳細は、「設定マニュアル」を参照してください。

明るさ / プリセット / フォーカス

機能	内容
明るさ	ネットワークカメラの明るさを調整します。  : 画像が暗くなります。  : 明るさを初期設定に戻します。※1  : 画像が明るくなります。
プリセット	ネットワークカメラの向きを、あらかじめ登録した位置に移動します。 1. プリセット番号を選択します。 参考  を選択すると、ネットワークカメラの向きがホームポジションに移動します。
フォーカス	ネットワークカメラの焦点を調節します。  : 焦点が近くなります。※2  : 焦点を自動的に調節します。※3  : 焦点が遠くなります。※2

※1 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、設定できません。

※2 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、手動調整モードに切り替わります。

※3 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、自動調整モードに切り替わります。

PTZ

機能	内容
ジョイスティックモード	ネットワークカメラのPTZ操作を連続的におこないたい場合に有効にします。  : ジョイスティックモードが無効です。  : ジョイスティックモードが有効です。 参考 USBキーボードの場合は、ショートカットキー (J) を押すことでジョイスティックモードが有効になります。
ズーム	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。  : ズームアウトします。  : ズームインします。 参考 USBキーボードの場合は、ショートカットキー (+または-) を押すことでズームを調節します。
ポジション	ネットワークカメラの水平位置 (パン) と垂直位置 (チルト) を調節します。  参考 USBキーボードの場合は、ショートカットキー (Ctrlと↑、Ctrlと↓、Ctrlと←、Ctrlと→) を押すことでポジションを調節します。
PTZアジャスト	PTZ操作の動作量を調節します。スライダーが右側に行くほど動作量が大きくなります。  参考 USBキーボードの場合は、ショートカットキー (Ctrlと-またはCtrlと+) を押すことでPTZアジャストを調節します。

参考

- USBマウスのカーソルを選択中のカメラ映像上に移動することで、カメラ映像上でPTZ操作をおこなうこともできます。この機能は、カメラ映像の画面サイズが「352×198」（16面レイアウト相当）以上の場合に有効です。

補助コマンド

機能	内容
補助コマンド	ネットワークカメラの補助機能进行操作、または登録したイベントルールのアクションを実行します。 1. 「補助コマンド」のリストボックスを選択します。 2.  を選択します。 参考 • ネットワークカメラの補助機能は、プロトコルが「ONVIF」または「Panasonic」の特定機器でのみ操作できます。 • イベントルールのイベントは、カメラを選択していない状態でのみ実行できます。

